

第2節 社会的状況

2.1. 人口及び産業の状況

(1) 人口の状況

調査区域における人口及び人口密度の状況は、表 4-2-1 に示すとおりです。

令和 2 年 10 月 1 日現在の豊橋市の人口は約 37.2 万人、田原市の人口は約 5.9 万人であり、2 市を合わせた人口は愛知県全体の約 5.7%に相当します。

平成 27 年から令和 2 年の人口増加率は、愛知県全体では+0.8%と増加傾向にあり、豊橋市では-0.8%、田原市では-4.8%となっています。

豊橋市の人口密度は 1,420 人/㎢となっており、愛知県全体の 1,458 人/㎢と比較して同程度ですが、田原市の人口密度は 310.6 人/㎢と大きく下回っています。

世帯数は豊橋市が約 15.1 万世帯、田原市は約 2.1 万世帯で、愛知県全体の 5.3%に相当します。

表 4-2-1 人口・人口密度・世帯数等

行政区分	面積 (km ²)	人口(人)			人口増加率 (R2/H27) (%)	人口密度 (人/㎢) 令和 2 年	世帯数 (世帯) 令和 2 年
		平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年			
豊橋市	261.86	376,665	374,765	371,920	-0.8	1,420	151,377
田原市	191.12	64,119	62,364	59,360	-4.8	310.6	21,300
愛知県	5173.07	7,410,719	7,483,128	7,542,415	+0.8	1,458	3,238,301

出典：「令和2年国勢調査」(統計局ホームページ)

「平成27年国勢調査」(統計局ホームページ)

「平成22年国勢調査」(統計局ホームページ)

(2) 産業の状況

調査区域における令和 2 年の産業別就業者の構成比は、表 4-2-2 に示すとおりです。

産業別就業者の割合については、愛知県全体では第 1 次産業が約 1.9%、第 2 次産業が約 31.5%、第 3 次産業が約 63.3%と第 3 次産業就業者の割合が最も高く、第 1 次産業就業者の割合が最も低くなっています。豊橋市では、愛知県全体の構成比と比較して第 1, 2 次産業の割合が若干高い傾向がみられます。また、田原市では第 1 次産業の割合が第 2 次産業の割合を上回る結果となっています。

表 4-2-2 産業大分類別の就業者数割合(令和 2 年)

行政区分	第 1 次産業		第 2 次産業		第 3 次産業		就業者数 (人)
	就業者 (人)	就業者の 割合(%)	就業者 (人)	就業者の 割合(%)	就業者 (人)	就業者の 割合(%)	
豊橋市	9,648	5.1	64,483	34.3	108,739	57.8	188,007
田原市	9,983	28.8	8,714	25.2	14,703	42.4	34,642
愛知県	69,002	1.9	1,135,848	31.5	2,297,585	63.3	3,605,438

出典：令和2年国勢調査(総務省ホームページ)

2.2. 土地利用の状況

(1) 土地利用の現況

1) 地目別面積

調査区域における令和4年度の地目別面積は、表4-2-3に示すとおりです。

愛知県全体では行政面積に対して森林・原野が約4割を占めていますが、豊橋市、田原市ともに農用地が約3割と最も多くを占めています。

表4-2-3 地目別面積（令和4年度）

単位：ha

行政区分	行政面積	宅地	農用地	森林・原野	道路	その他
豊橋市	26,200	6,202	7,450	4,282	2,459	5,797
田原市	19,111	2,302	6,260	5,326	1,129	4,094
愛知県	517,019	98,965	72,900	217,973	41,258	85,924

注1)「その他」の値は行政面積から宅地・農用地・森林・原野及び道路の面積を減じて算出している。

出典：「令和6年度刊愛知県統計年鑑」（令和7年3月、愛知県ホームページ）

2) 土地利用現況

調査区域における土地利用現況図は、図4-2-1に示すとおりです。建物用地、森林、その他の農用地が同程度の割合を占めます。また、事業実施区域では、田、その他の農用地、河川地及び湖沼、森林等が見られます。

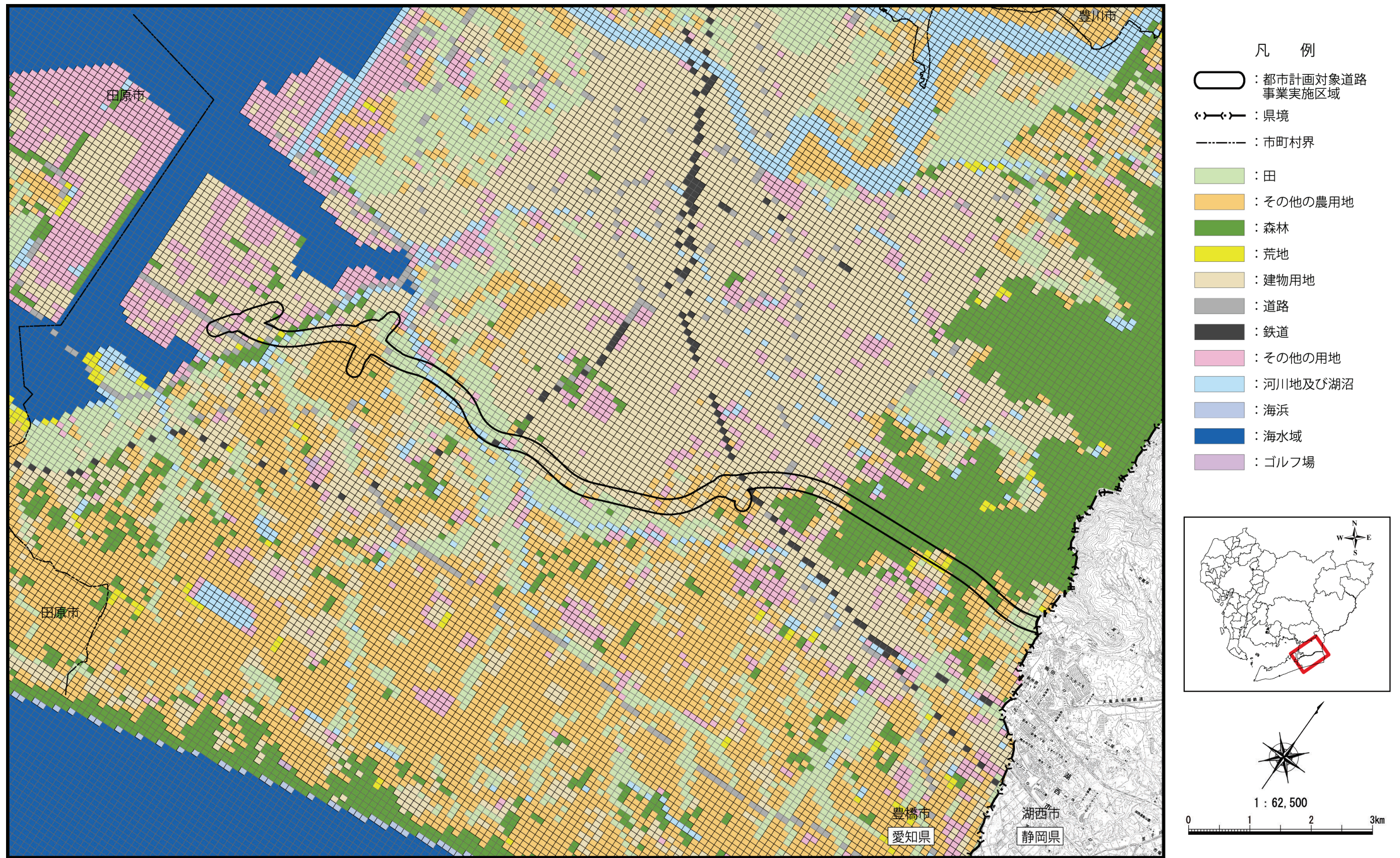


図 4-2-1 土地利用現況図